

3/8  
県福

# 国保税負担率、168.7%

## 県内調査 全国平均上回る

国民健康保険加入者の68.7%が保険料（国保税）——ことが、県民主医療機関連合会（民医連）のアンケートで分かった。県内の国保内に国保税負担は全員も重く、県民

と回答し、「年々高くなっている」「これ以上の負担はできない」と感じている人が、日々の暮らしを圧迫していると正直だと思う特にはない高すぎて滞納せざるを得ないその他

医連は「非正規雇用や無職の加入者が増えて負担感が増している」と指摘している。

医連は昨年九月から今年

一月、県内の民医連に加盟

した。県

内に国保

施。六十七歳を中心

に国保の運営は四月に市町

から県に移行するが、高齢

化による医療費の増加や滞

納も課題となっている。民

と回答し、「年々高くなっている」「これ以上の負担はできない」との声が多く、金銭的理由で医療機関への受診を先延ばしにした経験のある人は、一割近くに上った。

県内で所得額に応じた負担軽減措置を受けている人の割合は、二〇一五年度には五割を超えた。それでも県内の被保険者一人当たりの年間所得額五十八万六千円に対し、国保税の負担は九万四千七百円で、所得に占める割合は全国平均を上回る約16.1%となっている。

医連の佐々木紀明事務局長

は「自治体は滞納者からの回収率を上げようとしてい

るが、払いたくても払えない人がいると知つてほし

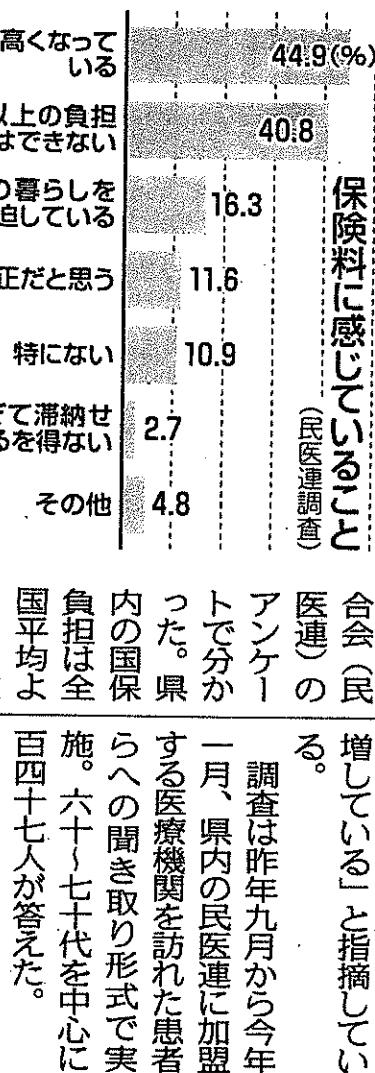
い」と表情を踏まえた対応

を求める。

県長寿福祉課の担当者は

「払えるのに払えない人に

は納付してもらわなければならぬが、払えない人には分割払いや減免措置を取つていて」と説明。



（中崎裕）